

県農業試験場北部支場の今後は

津山誠心会議・改革クラブ 北本周作



質問↓農業試験場北部支場の跡地利用について。

答弁↓津山市としては今秋をめどに活用方針案をまとめる。県には必要な用地の

みを取得する部分譲渡を要請し、検討会議で諸課題の調整をする。将来計画として担い手育成、新技術の実証などに活用する。また、久米地域には販売拠点の道の駅、官民連携組織のアグリ久米の六次産業化の枠組みがあり、これらを活用することで地域活性化を図りたい。

質問↓クリーンセンター建設事業の新たな工程表は。また、課題は何か。

答弁↓検証後の施設配置案、覚書見直し案を地元へ提案し、意見を聞いた。これらの様々な意見を参考に検討し早急に工程を明らかにしたい。国の交付金など財源確保に最大限努力し工程との整合性を図る。また、可能な限り環境に配慮した配置案を提案し、誠心誠意に対応し、地元関係者の理解を得ることがきわめて重要であり、それが今後の課題と考える。

環境負荷の低減に力を入れる

津山誠心会議・改革クラブ 安東伸昭

質問↓地球温暖化対策地域推進計画の二十年度策定から二年が経過した現在の津山市の取り組みと今後の施策について実績を問う。推進計画の目標を達成するため、防犯灯をLED照明に変更することで地球温暖化防止の起爆剤になると考えられる。第四次総合計画(後期)において取り組んではどうか。

答弁↓地球温暖化防止に関する市民の関心度は三%と若干の伸びである。津山市は太陽光発電、街路灯のLEDへの変更等を予算の中で、国の補助事業を活用しながら行ってきた。防犯灯のLED化については、地球温暖化対策としては、効果はあるが、多額の予算が必要になるため、現時点では限られた予算内で、防犯灯の新規設置の際に普及啓発に努める。



質問↓限られた予算では、LED防犯灯の全市への設置は容易ではないが、防犯灯の維持費(蛍光管の交換費用)減のため、取り組みが急務であると指摘する。

高齢者の暮らしを支援する

公明党津山市議員 川端恵美子



質問↓高齢者を狙った詐欺、悪質商法の手口も巧妙化している。市の消費生活相談業務の状況はどうか。県の消費生活センターと同様の相談業務をしているのか。

答弁↓昨年度の市民からの相談件数は八百七十七件あり、消費生活に関する相談は三百六十五件あった。市民への周知は重要なので、わかりやすい表示方法等を検討する。

質問↓津山市は四人に一人が高齢者となっている。高齢者の困りごと(安易な家具の移動や電球の交換など)に対応する支援サービスを創設できないか。

答弁↓先進地の事例を参考に、津山市シルバー人材センターなどと検討したい。

質問↓今年度より無料クーポン券を送付して、働く世代への大腸がん検診事業が実施されるがどのような事業内容か。

答弁↓四十歳から六十歳までの五歳ごとの節目年齢の方を対象に無料クーポン券を送付し、がん検診の受診につなげる。早期の事業実施に向けた準備を進めている。